石部南学区
まちづくり協議会広報

平成29年 7月15日発行

第50号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-77-2535

創刊５０号に向けて　石部南学区まちづくり協議会会長　大島　正秀

石部南学区まちづくり協議会が発足して丸９年が経ちました。この間、まちづくり協議会の運営に携わって頂いた方々、また、まちづくり協議会に理解ある方々の下、広報紙も創刊以来９年が過ぎ、記念すべき５０号が７月に発行となりました。まちづくり協議会創立時から紆余曲折を繰り返しながら現在に至り、どうすれば住民の方々に“まちづくり協議会の活動”を理解して頂けるか、役員一同何度も壁に当たりながら住民の方々と共に歩んでいくまちづくり協議会を目指して来ました。そんな時、地道な取材活動（地域の行事、まちづくり協議会の各部会の活動、等）をしながら広報活動を担って頂いた広報部会には感謝の一言しかありません。どうすれば、記事を読んでもらえるか、ホームページを閲覧してもらえるかと苦労の連続であったと思います。今後も、まちづくり協議会の各部会の活動紹介及び総合事業の活動報告、各自治会（石部南、宝来坂、宮の森、東寺、西寺・丸山）の活動紹介等を通じて、石部南学区住民の皆様方にまちづくり協議会の存在及び役割りを見つけて行きたいと思います。今後とも、まちづくり協議会の活動にご協力下さい。

創刊５０号の発行をお祝いして　石部南学区学区長　甲斐　正信

平成２１年１月１０日発行の創刊号以来、毎年平均６回（２ヶ月に１回）の発行を続けて来られ、今回第５０号の発行となるとの事、お祝いを申し上げますとともに、そのご苦労に対し、心より感謝申しあげます。この、創刊号から第４９号までの広報は、石部南学区まちづくり協議会のホームページで全て見る事が出来ます。今回、この原稿を依頼された事をきっかけとしまして、創刊号から第４９号までを約３時間掛けて全て開いて目を通しました。今までに存在していなかった「まちづくり協議会」という組織を立ち上げて、育てて来られた先人方のご苦労が手に取るようにわかった気がしました。昔、読んだ本に堺屋太一さんの書かれた「組織の盛衰」（１９９３年、ＰＨＰ研究所発行）という本があります。今でも、すばらしい本だと思っております。その中に、組織の要素が五つあると書かれております。その条件の一つが「共通の情報環境」です。まちづくり協議会の場合、構成員は石部南学区にお住まいの全ての方々です。この方々が、同一組織の構成員と言えるには、共通の情報を得る環境がなければ成立しません。その意味でもこの広報のもつ意味の大きさは計り知れないものがあります。今後共、継続していただき、一人でも多くの会員の皆様に読んで頂けるよう、我々役員はもっと努力しなければならないと改めて感じました。

広報紙のあゆみ（抜粋）

広報紙第１号（平成２１年１月発行）

石部南学区
まちづくり協議会広報

平成21年1月10日発行　第１号

発行：石部南学区まちづくり協議会　湖南市石部南3-5-1　石部南公民館内　電話0748-77-2535

石部南学区まちづくり協議会設立のご挨拶　会長　竹内　孝

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで、お穏やかに迎えられたことをお喜び申し上げます。平素は、各区において、地域自治活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

平成１９年度より、取り組んでまいりました、石部南学区まちづくり協議会を、皆様のご協力とご支援により、去る平成２０年１２月７日に湖南市長、市議会議長、市会議員、石部南小学校校長、区長会会長、市役所部長の各氏に御臨席を賜り、設立をさせていただきました。設立総会において、会長と言う重責を担せつかり、お手伝いをさせていただくこととなりました。よろしくお願い申し上げます。

昨年度の「今年の漢字」は、『絆』が選ばれました。従来の行政依存型から、住民自らの協働と共働による、一人一人の自主自立への変化が求められています。協議会の設立はできましたが、スタートラインに立ったに過ぎません。課題解決には市民レベルでの各種団体等のネットワーク化、連携・協力により、石部南学区の一体感を確保・確立することが基本だと考えています。『ここに住んでいて良かった』、『ここにいつまでも住みたい』、と全ての人が実感できるまちづくりに、是非とも皆様の御参加を頂き、ご支援、ご協力を賜りたく、お願いを申し上げます。

新しく選出された役員は次の方々です。
・会長　竹内　孝（西寺・丸山）　・副会長　西村　喜平（石部南）、野口　隆世（宮の森）、竹内　清美（宝来坂）　・事務局長　西川　博海（石部南）　・会計　吉里　鹿子（宮の森）
・監事　駒井　準（宮の森）、森田　敏雄（東寺）　・評議委員会委員長　西川　博海（石部南）
・運営委員会委員長　山中　雅之（東寺）　・事業部長　曽我部　修（宝来坂）
・事業副部長　小向　賢太郎（西寺・丸山）

・平成２０年１２月７日　石部南学区まちづくり協議会発足
・平成２１年１月１０日　広報紙第１号発行
・初代会長　竹内孝さん　運営委員総勢２９名

１号第２ページ目の抜粋

まちづくり協議会ってなに？

「まちづくり協議会」とは、石部南学区（宮の森、石部南、東寺、西寺・丸山、宝来坂）地域での**住民主体のまちづくり組織**です。**住民による、住民のための活動**です。行政や自治会活動だけでは解決しきれない課題を、住民と行政が役割分担しながら、解決を目指します。

目標とする紙面構成
・文字は基本 MS ゴシック体　１２ポイント
・出来るだけ写真を多く掲載する
・１面　まち協全体のイベントや出来事
・２面　まち協各部会の動き
・３面　学区内５区の動き
・４面　連載やお知らせ等

作成手順
・広報部会員持ち回りでドラフト版作成、部会長が校正編集の後、経営会議を経て１５日に発行
同時にホームページにアップロード

広報紙第１６特集号（平成２３年９月発行）

石部南学区
まちづくり協議会広報

平成23年9月15日発行　第16号　きらめきサマーフェスタ特集

きらめきサマーフェスタin石部南学区　盛大に開催！！

8月7日、15時より湖南市「じゅらくの里」において石部南学区まちづくり協議会の主催で『地域活性化推進事業：きらめきサマーフェスタ in 石部南学区』が盛大に開催されました。（動員人数約２０００名）
連日の猛暑の中、ステージでは石部太鼓のオープニングに始まり１２のプログラムが進行。会場広場では、各自治会・子供会・福祉施設の協力による模擬店やゲーム、展示販売のテントが２５を数えました。中でも今回の目玉は、学区民参加による手づくりの「ペットボトル（高さ５ｍ）」や入り口の『風景塔』、『光のトンネル』、そして『縦看板（竹竹灯）』でした。ステージの横にそびえるメインタワーは、暗くなるに従って、色取り取りに彩色され、夜空とのコントラストも鮮やかになりました。フィナーレは、江州音頭の後の『レーザー花火ショー』、そして「上を向いて歩こう」の大合唱で、学区民の心がひとつになり、幕を閉じることが出来ました。
【今回のイベントに際し、準備・運営にあたっていただいた多くの皆様に心からお礼申しあげます】

・平成２３年８月７日**「きらめきサマーフェスタ in 石部南学区」**が、じゅらくの里で開催されました。
・目玉は学区民手作りによるペットボトル１万個のイルミネーションタワーや光のトンネル
・模擬店は２５を超え、フィナーレはレーザー花火ショー　動員人数約２，０００名
・特集号として、上質紙に印刷

広報紙第１７号（平成２３年１０月号発行）でマーク発表

シンボルマーク 決定！！

公募中のシンボルマークは、５点の応募があり、厳正な審査の結果、石部南区にお住まいの荻田嘉弥さん（69 歳・一級建築士）の作品が最優秀賞に決定致しました。
今後各場面で積極的に使っていきます。

ブルーは湖南市、ピンクは福祉に優しいまちの石部南学区を示します。
橙色の楕円は、５区（東寺区、西寺・丸山区、石部南区、宮の森区、宝来坂区）のふれあいを表し、アンテナを高く、耳で良く聴き、しっかりとした足で前進し、足下は地域に確実に根付いています。楕円の傾斜は、前進、躍動を表現。
ゆるキャラをイメージしています。

広報紙第３７号（平成２７年７月発行）

石部南学区
まちづくり協議会広報
第37号
広報部会
平成27年度　第１回防災運動会が開催されました

５月２４日（日）石部南小学校グラウンドにおいて、第１回防災運動会が開催されました。学区民約２５０名が参加し、バケツや担架、リヤカーといった防災にちなんだ用具を使って競技を行いました。「火災発生！早く消そう」では、消火栓やバケツリレーで火に見立てた的をめがけて、放水しました。「食料は大丈夫か？」では、干供達が非常袋にお菓子や、パン、飲み物を詰めながら避難しました。「消防団はまだか？」では消防士の服装を仕上げていく競技をしました。「さあ避難所へ」はリヤカーや担架で仕が人や荷物を運び、土のうや積などの障害物を乗り越えてゴールを目指しました。また、「いざめし」競技には１１チームが参加。米、ジャガイモ、キャベツ、ツナ缶など限られた食材、調味料で、防災用かまどベンチを使って非常食を作りました。おにぎり、ハンバーグ、野菜スープなどの料理が仕上がり、審査員による採点がありました。ＮＨＫやびわこ放送の取材もあり、後日放映されました。

まちづくり協議会大島会長　石部南小学校伊藤校長　湖南中央消防署谷口石部分署長　やびわこ放送　谷畑市長　NHK大津放送局カメラ「防災いざめし」

- 1 -

・平成２７年５月２４日　**「第１回防災運動会」**開催
・種目
　消火の水はどこだ　　火災発生！　早く消そう
　食料は大丈夫か　　消防団はまだか
　さあ避難所へ　　いざめしを作ろう
・学区民約２５０名が参加
・NHK やびわこ放送の取材もありました

広報紙第３８号（平成２７年９月号発行）
待望の厨房が完成

石部南まちづくりセンターに厨房が完成しました！

７月１８日（土）石部南まちづくりセンター内に待望の厨房が完成し、お披露目が盛大にとり行われました。谷畑市長や、来賓のみなさんの挨拶をいただき、完成した設備を見学したあと、全員で出来上がったばかりの料理を会食することができました。料理担当は、今年新たに組織された女性だけの「賑わい広場カトレア部会」のみなさんです。

谷畑市長　大島会長　賑わい広場カトレア部会の皆さん　ゲストの皆さん　厨房設備見学中　出来上がった料理

広報紙第４６特別号（平成２８年１１月発行）

石部南学区
まちづくり協議会広報
平成28年11月15日発行
第46(特別)号
広報部会

湖南市まちづくり協議会合同企画
ふれあいチャリティーコンサート
"届け！湖南市の想い 熊本へ"

湖南市まちづくり協議会および谷畑市長による開会の挨拶

９月２５日（日）石部文化ホールにて、湖南市まちづくり協議会の合同主催により、『ふれあいチャリティーコンサート　"届け！湖南市の想い 熊本へ"』が開催されました。４月１４日に発生した熊本地震によって今なお避難生活により苦労されている多くの方へ「私たちにできることはないだろうか」と、市内７つの地域まちづくり協議会が合同でチャリティーコンサートを企画したものです。ホールのステージでは１８団体の演奏・ダンス・歌唱などが披露され、ロビーでは熊本地震の被災状況のパネル展示や募金活動が行われました。ホールの外では模擬店が開かれ、カレーや、サーターアンダギー、チヂミ、牡蠣フライなどが販売されるなど、チャリティー会場は大盛況でした。
　尚、頂いたチャリティー募金は熊本へ送られ、被災者の方に役立てられます。
ご協力頂いた皆様、どうもありがとうございました。

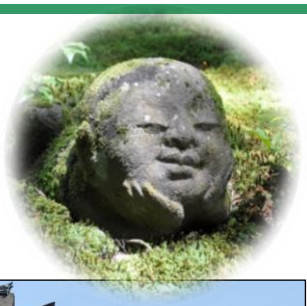
・平成２８年９月２５日**「ふれあいチャリティコンサート」**が、石部文化ホールで開催されました。
・４月に発生した熊本地震に対応して、湖南市まちづくり協議会との合同開催
・１８団体の演奏、ダンス、歌唱等
・チャリティ募金は、熊本へ送られました

広報紙４面の連載

・９号～３０号　**「歴史の小径」**
　ー郷土の歴史を振り返ってー
　歴史研究家　竹内利夫さんの著書より転載
・３１号～　**サークル紹介**
　石部南まちづくりセンター登録のサークル活動の紹介

広報紙は石部南学区まちづくり協議会のホームページより、いつでも見ることが出来ます。

京都館外学習　大原～清水寺



６月１５日(木)恒例の館外学習が京都で開催されました。バス２台により、大原三千院界隈、そして清水寺界隈と廻りました。清水寺付近は、平日とは思われないほどたくさんの人で賑わっていました。

ドッジボール大会

６月２４日(土)石部南小学校で、ドッジボール大会が開催されました。コートの上では、元気な子ども達が走り回りました。その後、まちづくりセンターでにぎわい広場が開催され、七夕飾りつくりが行われました。

宮ノ森区

６月１８日（日）野洲川親水公園にて、恒例のグラウンドゴルフ大会が、１５チーム９０名＋役員、家族の参集を得て、開催されました。当日は梅雨入りしたとはいえ、爽やかな風のもと、気持ちの良い半日を楽しむことができました。ホールインワン賞が１５本も出るほどで、出場した皆さんの腕もどんどん上がってきているようです。

石部南学区まちづくり協議会のホームページ

http://.ishibe-minami.net/

（メールアドレス　info@ishibe-minami.net）

ホームページ　メールアドレス